

2025 年度第 1 回理事会議事録

日時：2025 年 4 月 4 日（金） 17:00～19:15

場所：筑波大学 東京キャンパス文京校舎 614 会議室、オンライン（ハイブリッド開催）

出席理事（対面）：山上（会長）、猿渡（副会長）、宮川（庶務理事）、黒木（庶務理事）、山田（研究普及理事）、鳥海（無任所理事）、林（研究普及理事）、谷崎（支部理事）、佐々木（大会理事）

出席理事（オンライン）：森永（副会長）、三好（副会長）、鵜飼（国際理事）、塩野（会計理事）、塩田（涉外理事）、田中（広報理事）、岡村（大会理事）、関谷（編集理事、途中参加）

欠席理事： 牧野（編集理事）

出席監事（対面）：根本

出席監事（オンライン）：河東

オブザーバー（オンライン）： 西川（北海道支部長）、古藤（東北支部長）、桑野（中部支部長）、北條（関西支部長）、李（九州支部長）

事務局（対面）：長谷

書記（オンライン）：宮代

【定足数の確認と、オブザーバー参加についての承認】

山上会長を議長として、定足数の確認が行われた。現地参加の理事 9 名、オンライン参加の理事 7 名の参加があり、理事会の成立が確認された。

支部長 5 名のオブザーバー参加が承認された。

【審議事項】

A-01 2024 年度第 6 回議事録確認（庶務理事）

宮川庶務理事より、前回議事録の確認があり、承認された。

A-02 会員管理の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、2 月末までの入会申請 8 名について説明があり、承認された。また、退会 38 名、再入会 1 名があり、事業年度通算では 19 名の減少、賛助会員は 9 名の増加があったことが報告された。なお、今回よりデータ集計の〆日を固定することが報告された。

A-03 2025年度定時総会資料の件（庶務理事）

黒木庶務理事より、総会を招集してよいかの確認があり、承認された。

続いて宮川庶務理事より、第1号議案「2024年度事業報告」の件について報告があり、承認された。2024年度の通常総会の報告で、いくつかの継続審議である議題を誤って承認と記載していた旨説明があり、訂正された。鳥海理事より、事業報告の「継続審議」「承認」などについて議事録と整合性が取れているのか質問があり、確認をとっていると宮川理事より説明があった。

続いて塩野会計理事より、第2号議案「2024年度決算報告および監査報告」の件について報告があり、承認された。60万円強の黒字である一方、前年比としてはマイナス270万円となるが、その変動の内訳についても分析の結果問題ないものと説明された。

続いて根本監事より、監査の結果として問題ないことが報告された。

鳥海理事より黒字の消化についての質問があり、長谷事務局長より額面は大きくないものの今後考えていく必要があると説明があった。林理事より、70周年として何か事業予定があるのかという質問があり、山上会長より現状は特に予定していないが10年後のIFORSへ立候補するのであれば資金を引き当てておくという検討課題がある旨の説明があった。

第3号議案「2025-2026年度新役員承認」の件（庶務理事）、報告1「2025年度事業計画（庶務理事、承認済）、報告2「2025年度収支予算（会計理事、承認済）についてはいずれも既に承認済のため報告は省略された。

A-04 機関誌記事一編に対する著作物利用許諾締結の件（関谷編集理事）

関谷理事が途中参加のため、A-13議題の後に説明された。機関誌の著者から、記事掲載にあたり著作権の譲渡ではなく著作物利用許諾を締結したいとの申し出があったとの説明があり、利用許諾契約書案が説明された。議論の結果、利用許諾契約の期限を（著作権が消滅するまでの）70年に延長した案を弁護士に確認してもらった上で著者と交渉し、結果を報告してもらうことで承認された。

A-05 学会公式コンペティションの件（森永研究普及委員長）

森永研究普及委員長より、企業事例交流会開催準備資産を活用した学会公式コンペティションの開催について検討状況が報告され、実現を担う組織として特設研究部会の設置および会計について提案された。山上会長、猿渡副会長、三好副会長から、特設研究部会として設置するのではなく、例えば企画委員会の下に設置するような形が良いのではないかというコメントがあった。結論として、方向性については承認するものの、どのような形の組織（委員会、小委員会等）とするかについては継続審議することとなつた。

A-06 2025年秋季研究発表会・シンポジウム概要と予算案（林研究理事）

林研究理事より 2025 年秋季研究発表会・シンポジウム（広島大学、東広島キャンパス）の概要と予算案について説明があった。続いて、岡村大会理事より参加者数見込みなどについて説明があった。これらについて承認された。

なお、佐々木大会理事よりコメントがあり、参加費については本部・理事会で決定して、実行委員会の負担を減らしていくよう要望が出され、今後の検討課題とすることとした。

A-07 今後のシンポジウム及び研究発表会運営について（林研究理事）

林研究理事より「シンポジウムと研究発表会の受付一本化」「アブストラクト冊子体の廃止」が提案された。両者とも大会運営業務の簡素化などメリットが大きい一方、想定されるデメリットはそれほど大きくないと説明された。メリットと議論の結果、両方の提案ともに承認された。なお、一覧性の担保についてプログラムのみ小冊子体を作成するなどの対策が報告された。

A-08 2026年春季研究発表会・シンポジウム計画案（林研究理事）

林研究理事より 2026 年春季研究発表会・シンポジウムについて、2026/3/4~6 に麗澤大学（実行委員長を大澤先生）にて実施する計画が説明され、承認された。

A-09 執務幹事推薦依頼・退任報告の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より 2024 年度末をもって中山舜民氏が庶務幹事を退任したとの報告があった。また後任として、久米啓太氏（東京科学大）の推薦の依頼があり、承認された。

なお、今後の庶務幹事の推薦については、庶務幹事会を定款細則 2-1-4 第 4 条第 1 項における「対応する委員会がないもの」ではなく「対応する委員会」として扱い、すなわち理事会では報告事項とすることが承認された。

A-10 2025年度理事会及び2026年度定時総会日程の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より 2025 年度理事会及び 2026 年度定時総会日程について説明があり、承認された。

A-11 シニア会員の条件修正の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より説明があり、原案通り承認された。

A-12 会費会誌取扱い規程整備の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より説明があり、原案通り承認された。

A-13 選挙管理に係る規程整備の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、選挙管理委員会規程、代議員選挙規程、役員規程の改訂について説明があった。選挙管理委員会規程および代議員選挙規程の改訂については承認された。役員規程改訂のうち、選挙管理委員会規程整備に直接的に関係する部分以外については、意見を引き続き求めるということで継続審議とされた。

【報告事項】

B-01 代議員定数定義及び投票方法見直しの件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、代議員定数定義及び投票方法見直しについて説明がなされた。意見がある場合はメール等で知らせてほしいと依頼があった。

B-02 目安箱廃止の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、目安箱廃止の件について説明がなされた。

B-03 2025年度研究部会・グループ追加補助金申請（林研究理事）

林研究理事より、2025年度研究部会・グループ追加補助金申請について説明がなされた。

B-04 2024年度研究部会・グループ活動報告（林研究理事）

林研究理事より、2025年度第1回ORセミナー予算について説明がなされた。

B-05 2025年度第2回ORセミナー予算の件（山田普及理事）

山田普及理事より、2025年度第2回ORセミナー予算の件について説明がなされた。

B-06 研究普及委員推薦の件（山田普及理事）

山田普及理事より、研究普及委員推薦の件について説明がなされた。

B-07 支部役員名簿更新の件（谷崎支部理事）

谷崎支部理事より、支部役員名簿更新の件について説明があった。

B-08 機関誌編集委員変更（関谷機関誌編集委員長）

関谷機関誌編集委員長より、機関誌編集委員の変更について説明があった。

B-09 2024年度後半代表理事執行状況報告（各代表理事）

2024年度後半の代表理事執行状況について、書面で報告があった。

B-10 規程類管理方法について（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、規程類管理方法について説明があった。

B-11 事務局体制の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、パートタイム職員の退職、着任について説明があった。

B-12 臨時理事会及び 2025 年度第 2 回理事会議事予定の件（黒木庶務理事）

黒木庶務理事より、臨時理事会及び 2025 年度第 2 回理事会議事予定について説明があ
った。

以上

書記：宮代

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2025 年度第 1 回理事会

議事録署名人

議長（会長） 代表理事 山上 伸

（副会長） 代表理事 猿渡 康文

（副会長） 代表理事 三好 直人

（副会長） 代表理事 森永 聰

監事 根本 俊男

監事 河東 晴子